

長谷川班班会議資料

国立がんセンター東病院 縄野 繁

1. FCR-MMG CAD システムの開発
 - ① 現在 9 施設でプロトタイプ CAD システムが稼働しており、市販化に向けた細かい問題点のチェックや調整を行っている。
 - ② 施設による画像の差を自動的に調整する方法の開発（富士フィルムより発表）

2. 高精細 FCR-MMG (FCR-5000MA) の開発 (スライド)
 - ① 1 ピクセル 50 ミクロン (今までは 100 ミクロン)
 - ② イメージングプレートの両面を読みとることで情報量が増加し、S/N も向上
 - ③ 拡大スポット撮影も可能で、スクリーニングから精査まで使用できる。
 - ④ CAD との接続を現在開発中

3. CT 画像からの肝臓抽出
 - ① マルチスライス CT から発生する多量の画像を診断支援するプログラムの開発 (東京理科大学 深田より発表)
現時点では肝臓の抽出であるが、肝腫瘍の検出や体積の計算が目標
 - ② 農工大清水先生を通じて画像の CD-ROM を配布した。
 - ③ 本年 11 月 CADM 学会にてプレコンテストを予定し、来年本コンテストを実施したい。

4. CADM 学会のお知らせ
 - ① 11 月 11 日 (日)、12 日 (月) 九州大学医学部内 同窓会館にて開催 (例年通りコンピュータ外科学会と同時に開催)
 - ② 11 日午後に特別講演、共同企画 懇親会を予定
 - ③ 演題締め切りは 7 月 27 日ですのでよろしくお願いいたします。